



明治学院大学

横浜キャンパスのSDGs活動



わたしたちが
めいがく
明学にいる
ワケ。

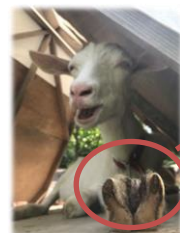


あんしん あんぜん
安心・安全に
じょそうかつどう
除草活動して
います！



ゆた みどり じょそう 〈豊かな緑を守る「エコキャンパス」としてのヤギによる除草システム〉

横浜キャンパスは、敷地面積の約半分が緑地です。その緑地を守っていくために日々の除草は欠かせません。しかし、除草機を使うとCO2(二酸化炭素)が排出されますし、除草剤は、枯らさなくてよい木まで枯らしてしまう恐れがあります。そこで、環境に優しい方法として、ヤギに雑草を食べてもらう取り組みを行っています。ヤギは、一日で一頭あたり約3キロの雑草を食べます。ヤギの足には蹄というかたいツメがあります。その蹄のお陰で、急斜面や狭い場所など、人が入りにくい場所でも、簡単に行き来して除草の手助けをしてくれています。



ひづめ 蹄

Q、ヤギがいることで、除草のほかにもどんな良いことがあるのでしょうか？(答えは下に！)

- 1、騒音や排気ガスの心配がない。
- 2、ヤギの糞が土の肥料になる。
- 3、ヤギが歩き回って斜面を踏み固めることによって、大雨などによる土砂崩れを防ぐ。



ひごろ、ヤギ部の学生がお世話をしています。

「体調は悪くないかな？」
「飲み水は足りているかな？」
「ブラッシングをしてあげよう♪」

キャンパスの人気者！



A、すべて○です！ほかにもあるかな？ぜひ調べてみてね。
このように、ヤギは横浜キャンパスにおいて重要なお仕事をしているのです。